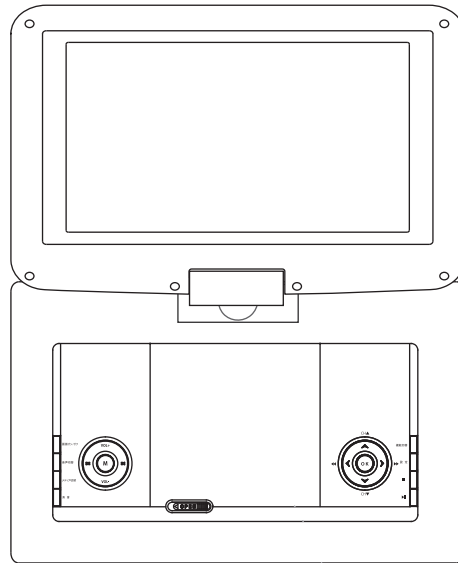


取扱説明書 -保証書添付-

型番: SU-156FS

Superbe

15.6インチフルセグ搭載ポータブルDVDプレーヤー



-この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます-

- ご使用前に必ずこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。
- お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- ※本製品は日本国内でご利用いただくために設計・製造されたものです。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等、必要事項の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

もくじ

	ページ		ページ
安全上のご注意	4	DVD/オーディオCDの再生	
付属品	7	基本操作	23
ディスクについて		再生/一時停止	23
再生できるディスクの種類	8	仮停止/停止	23
ディスク構成について	8	次へ/前へ	23
DVDに表示されているマークについて	9	早送り/早戻し	23
ディスクの保管	10	スロー再生(DVD)	24
ディスク取扱い上のご注意	10	リピート再生	24
ディスク使用上のご注意	10	アングル	24
温度の変化により水滴が付いたとき	10	ズーム	24
各部名称(本体1)	11	メニュー操作	24
各部名称(本体2)	12	音声切替	25
各部名称(リモコン)	13	字幕切替	25
リモコンについて		画面表示	25
リモコンの準備	14	数字ボタンによる再生(再生中)	26
リモコン用電池の交換	14	数字ボタンによる再生(停止中)	26
リモコンの使い方	14	数字ボタンによる再生(オーディオCD)	26
電源について		プログラム再生	26
家庭用AC100V電源で使うには	15	USBメモリ/SDカードについて	
自動車用DC12V電源で使うには	16	USBメモリ/SDカードの接続	28
内蔵の充電電池で使うには(充電方法)	17	USBメモリ/SDカードの取り出し	28
接続方法		各種ファイルの再生	
テレビとの接続	18	再生できるファイル形式	29
外部機器との接続	18	基本操作	29
準備		JPEGファイルについて	29
液晶画面について	19	DVDと同様の操作	29
お知らせ(本体とリモコンの互換操作)	20	停止(MP3/WMAのとき)	30
電源の入/切	21	停止(JPEGのとき)	30
音量の調節	21	リピート再生	30
消音	21	ズーム	30
液晶画面を消す	21	数字ボタンによる再生	30
画面アスペクト比の切替	21	CDからUSBメモリ/SDカードへ録音	
イヤホンで聴くとき	21	録音方法	31
その他	21	DVD設定	
数字入力について	22	設定方法	33
		一般設定	34
		音声設定	34
		デジタル	35
		映像設定	35
		選択	36

もくじ

ページ

外部機器の再生 ————— 38

地上デジタル放送の視聴

アンテナの準備(ご家庭の地デジアンテナを使うとき) — 39

アンテナの準備(同梱のワンセグ用アンテナを使うとき) — 39

miniB-CASカードの準備 ————— 40

基本操作 ————— 40

初期設定 ————— 40

チャンネルリスト ————— 42

チャンネル切換 1 ————— 42

チャンネル切換 2 ————— 42

チャンネル切換 3 ————— 42

音声切換 ————— 42

字幕切換 ————— 42

番組表/番組内容の表示 ————— 43

チャンネル情報の表示 ————— 43

中継局サーチ ————— 43

地上デジタル放送設定

基本操作 ————— 44

故障かなと思ったら ————— 46

製品仕様 ————— 49

アフターサービス/免責事項 — 50

保証条件 ————— 51

保証書 ————— 52

安全上のご注意

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告



ACアダプター
を抜く

- 万一、煙が出ている、異臭や異音が出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



分解禁止

- この機器を改造しない
火災・感電の原因となります。
- ACアダプターコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
火災・感電の原因となります。
- お客様自身による修理・改造はしない
感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。



禁止

- 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因になります。



禁止

- ACアダプターコードを傷つけたり、破損させない。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしない
ACアダプターコードが破損し、火災・感電の原因になります。



厳守


- ACアダプターコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼する
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。




禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。


安全上のご注意


ACアダプターを抜く


■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店または弊社にご連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。


禁止


■この機器の開口部(ディスクプレーヤー部など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。


ACアダプターを抜く


■万一、異物が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。


禁止


■お客様自身で、バッテリーの交換はしない
感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。


水ぬれ禁止


■この機器を水にぬらさない
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないでください。


水ぬれ禁止

■風呂場では使用しない
また、水などをかけないでください。
火災・感電の原因になります。


水ぬれ禁止

■この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。



ACアダプターを抜く

■万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店にご連絡ください。

安全上のご注意


注意

■お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いておこなう


ACアダプターを抜く

■この機器をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜く

■移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いておこなう
ACアダプターコードが傷つき、火災・感電の原因になります。


禁止

■ACアダプターを抜くときは、ACアダプターコードを引っ張らない
ACアダプターコードが傷つき、感電の原因になります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

■濡れた手でACアダプターを抜き差ししない
感電の原因になります。

■ACアダプターコードを熱器具に近付けない
ACアダプターコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。

安全上のご注意



禁止

■この機器に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

■本体を落としたり、振動を与えない
故障・火災・感電の原因になります。



■万一、この機器を落としたり、破損した場合は電源を切り、販売店に連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



禁止

■夏期の直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になる場所に放置しない
機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。



禁止

■次のような使い方はしない
・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。
・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。



■キャビネットなど閉めきったところに入れて使うときは、換気のため本機の周り約3cm以上空ける

閉めきった場所に設置する際は

換気のため
本機の周囲は
3cm以上
あけてください。



禁止

■湿気やほこりの多い場所に置かない
火災・感電の原因になります。

■調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電の原因になります。



禁止

■ひび・そり・ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない
故障の原因になります。

設置場所・使用場所について



禁止

次のような場所に設置、保管しない
またそのような場所で使用しない

- ・不安定な場所(水平以外の場所)
 - ・高い場所 ・振動や衝撃の起こる場所
- 倒れたり落下してけがの原因となります。
また、製品の故障の原因となります。

自動車に設置する際は

- ・ドライバーの邪魔にならない場所に本機や付属品を設置しコードを配線してください。
※運転者から見える位置に液晶画面を向けないでください。
- ・エアバックがある場所に本機や付属品を設置しないでください。
※万一エアバックが作動した際にけがをする恐れがあります。
- ・車で使用する際は仮固定してください。
※仮固定せずに使用すると急ブレーキ等で本機が移動し、けがや運転の妨げになります。
- ・チャイルドシート、ジュニアシートの正面に本機や付属品を設置しないでください。
- ・ご使用後は、自動車内に本機や付属品を放置しないでください。

電池についてのご注意

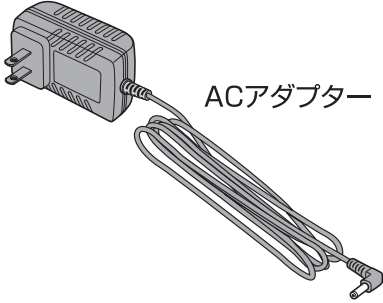
- リモコンの電池は、CR2025をお使いください。
- 電池の【+】、【-】を間違えないように正しく入れてください。
- 長時間使用しない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、水などの液体や火の中に投入しないでください。
- 電池は充電しないでください。
- 電池の【+】と【-】を電気を通す金属で接続しないでください。また、ヘアピンや針金などの金属製の物を近くに置かないでください。
- 小さなお子様が電池を飲み込んだり舐めないようご注意ください。

※上記を守らないと、液漏れ・発熱・発火・破裂を起こし、火災の原因となります。

※万一液漏れが起こった場合は、素手で触れないでください。

- ・液が目に入ったたり皮膚についた場合は、目をこすらずにきれいな水で洗い、すぐに医師にご相談ください。
- ・液が衣服についた場合は、きれいな水で洗い流してください。

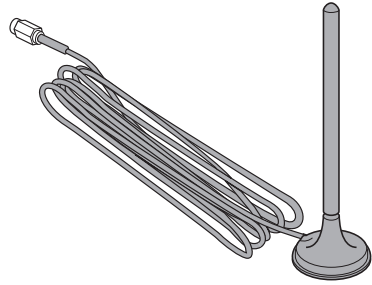
付属品



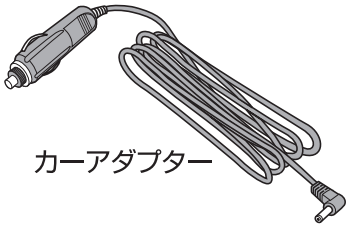
ACアダプター



地上デジタル専用
miniB-CASカード



ワンセグ用簡易アンテナ



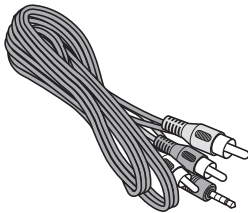
カーアダプター



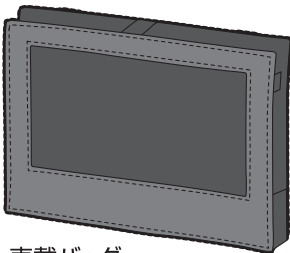
リモコン



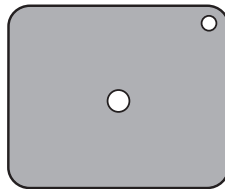
イヤホン



AVケーブル



車載バッグ



スチールボード



取扱説明書兼保証書
(本書)

ディスクについて

再生できるディスクの種類

- 本機は以下のディスクを再生できます。

	ロゴマーク	ディスクサイズ	内容
DVDビデオ		12cm	● 映像+音声
	 	12cm	● 映像+音声 (VIDEOモード/ VRモード対応) ※ ファイナライズ処 理をおこなわない と再生できません。
音楽用CD		12cm	● 音声
CD-R/RW		12cm	● 音声(CD-DA) ※ ファイナライズ処 理をおこなわない と再生できません。 ● 音声(MP3) ● 静止画(JPEG)

※ DVD-R・DVD-RWはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。長時間モードや長時間録画されたディスクは、再生できない場合があります。

● 本機で再生できないディスク

- 本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD-Audioは再生できません。

● コピーコントロールCD

- 本機のDVDプレーヤーは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

● 本機で再生できるDVDのリージョンコード(地域番号)

- DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとにリージョンコード(地域番号)が決められています。再生するディスクに、本機のリージョンコード“2”が含まれていないディスクは再生できません。また、“ALL”と記載されたディスクは再生できません。地域番号が同じでも日本向け以外のディスクでは正常に再生できない場合があります。

● JPEGの再生

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます。(記録方式によって再生できない場合があります)
- ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。

ディスク構成について

- DVDディスクは通常“タイトル”で分けられ、さらにタイトルをチャプターで分けています。また、CDではトラックで分けています。




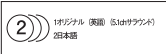
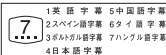








タイトルやチャプター、トラックには順に番号がつけられています。これらの番号を“タイトル番号”、“チャプター番号”、“トラック番号”と呼びます。ただしDVDによっては番号が記録されていないものがあります。

ディスクについて

DVDに表示されているマークについて

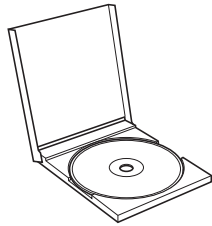
- DVDやCDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

	そのディスクに記録されている総時間です。APPROX.は概略の意味です。
	ディスクの種類と映像の記録方式の表示です。
	映像がカラーであることを意味します。
	音声言語の数および種類を示しています。
	字幕言語の数および種類を示しています。
	画面のアスペクト比を表示しています。なお、4:3は通常のテレビ画面です。
	リージョンコード(番号)と、記録されている映像のテレビジョン方式、そして対応している地域を示しています。
	複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数をあらわしています。
	DVDの標準音声タイプのことで、モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、5.1chでサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトでは、それぞれ5つのチャンネルごとに音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されています。本機を5.1chプロセッサつきAVアンプと接続することにより、臨場感あるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
	音声の記録方式と種類を示しています。
	このディスクが許諾されている著作権の範囲です。また、複製不能とは何らかのコピープロテクション技術が使われていることを意味します。

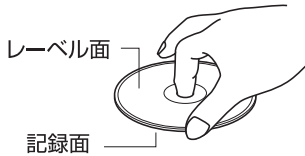
ディスクについて

ディスクの保管

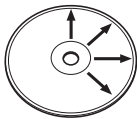
- 下記のような場所には保管しないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ 湿気や埃のある場所
 - ・ ヒーターの近くなど熱気や熱風のある場所、温度や湿度の高い所には置かないでください。
- 使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



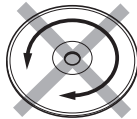
ディスク取扱い上のご注意



※ 記録面に触れないように持ってください。

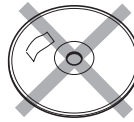


※ ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

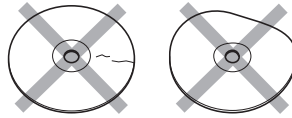


ディスク使用上のご注意

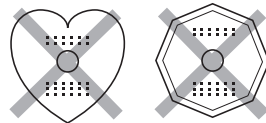
※ 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。



※ 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



※ ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

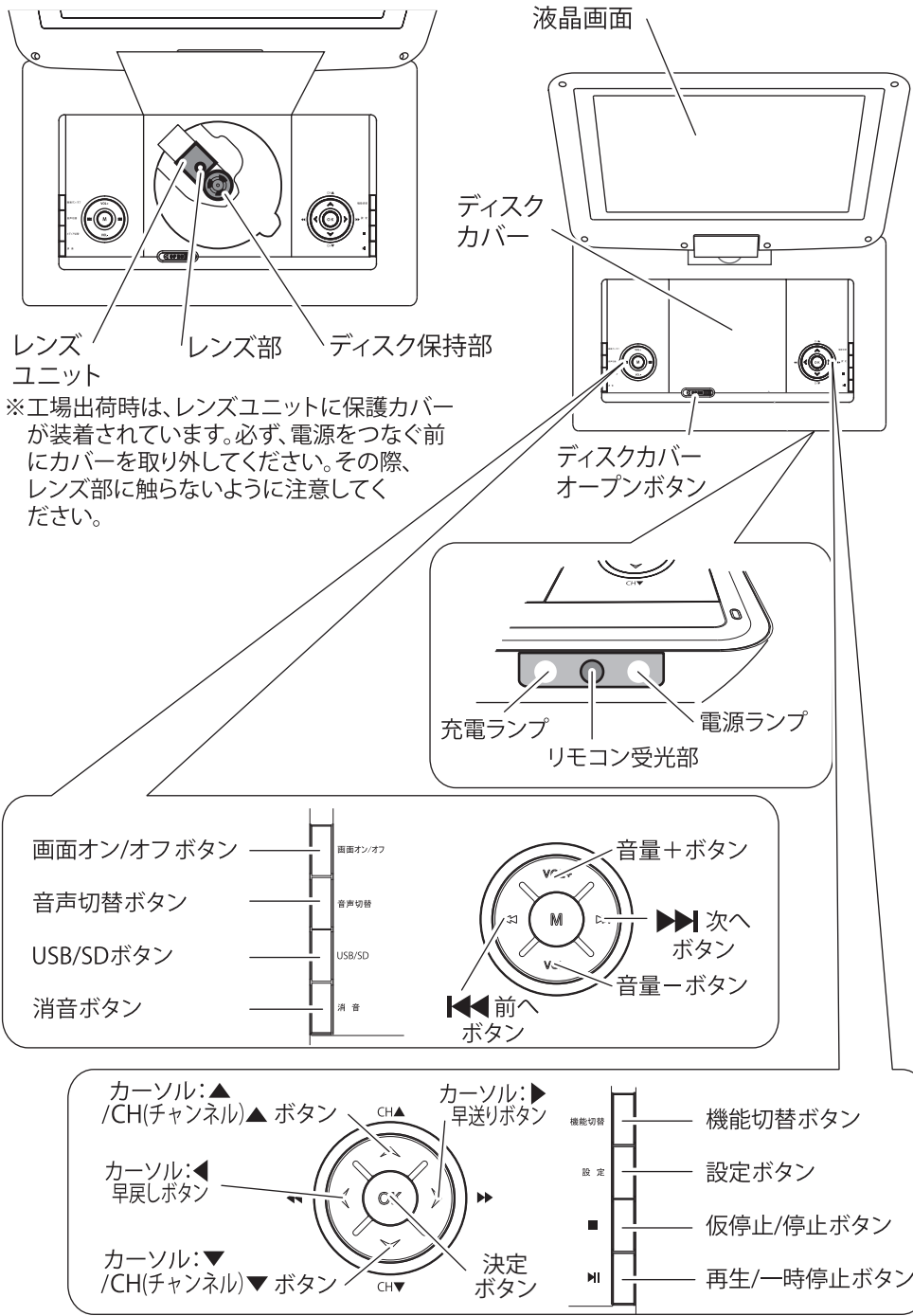


※ ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

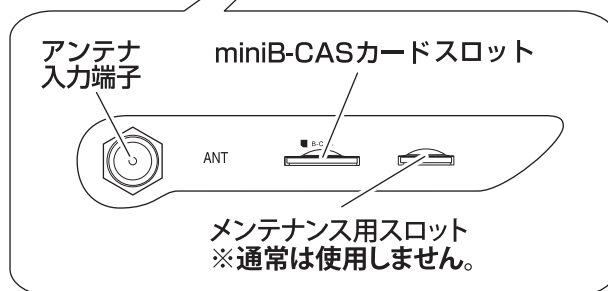
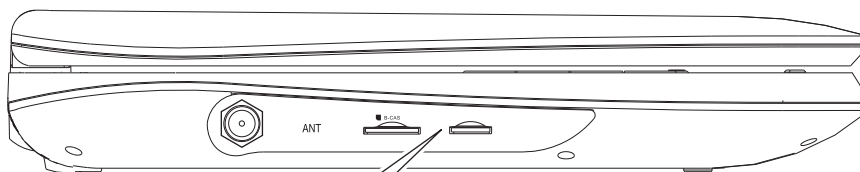
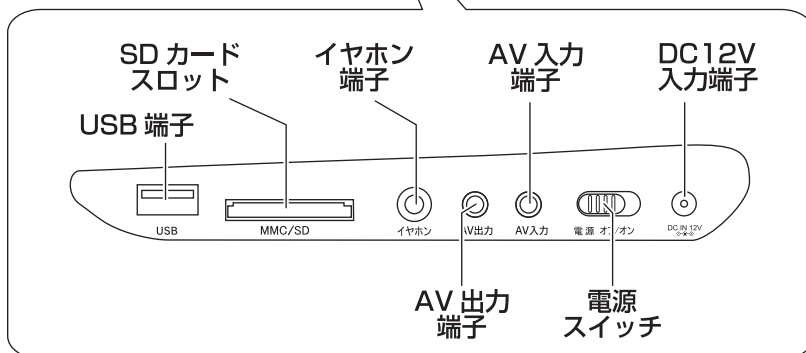
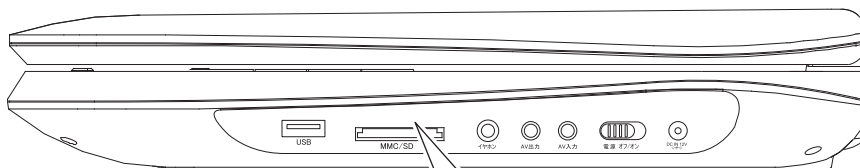
温度の変化により水滴が付いたとき

- ・ 使う前に、やわらかい布などで、必ず放射状に軽くふき取ってください。完全に乾いてからお使いください。

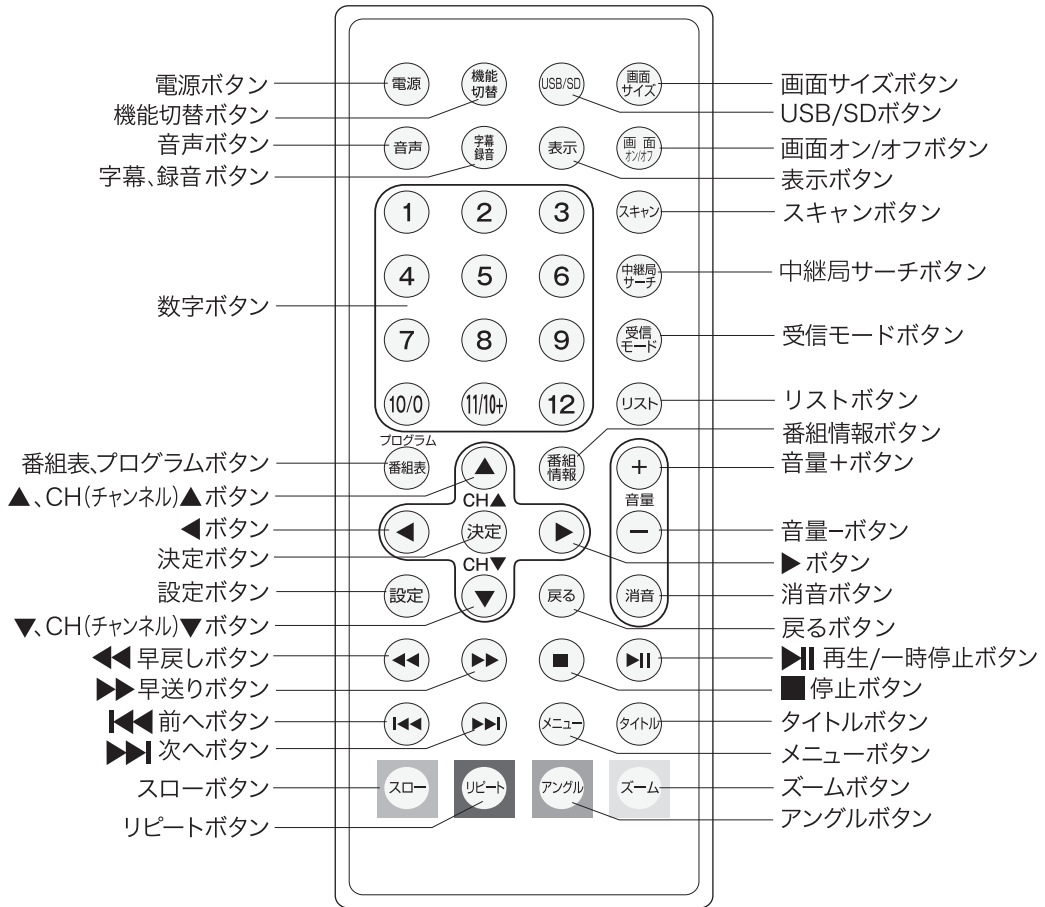
各部名称(本体1)



各部名称 (本体2)



各部名称 (リモコン)



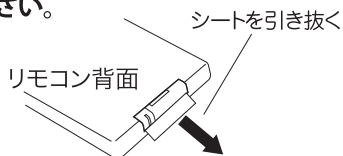
リモコンについて

⚠ 注意

- 電池の誤った使い方は、液もれや破裂の原因になります。つぎの点にご注意ください。
- ※ボタン型電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。お子様がボタン型電池を飲み込んだ場合、中毒の原因になります。もし飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
 - ※長時間で使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。
 - ※電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
 - ※使用できる電池は、CR2025のみです。
 - ※交換する時、電池の極性+/-に注意してください。

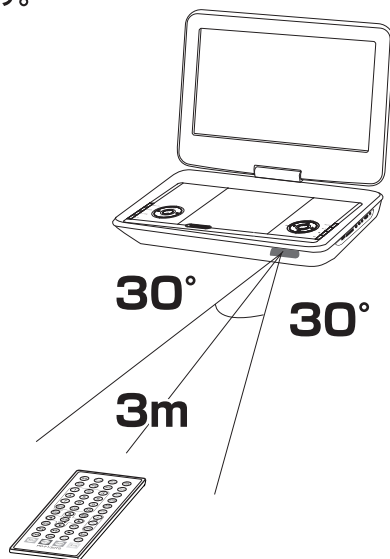
リモコンの準備

- リモコンにはテスト用の電池がセットされています。最初にリモコンを使う時は、リモコン下部に絶縁シートがついていますので、シートを引き抜いてください。



リモコンの使い方

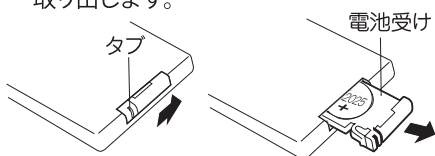
- リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの受光範囲は受光部より約3m以内、角度は左右上下30度以内です。



リモコン用電池の交換

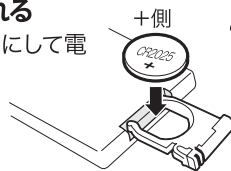
1. 電池受けを引き出す

リモコン背面のタブを矢印の方向に押しながら、電池受けを引き出し古い電池を取り出します。



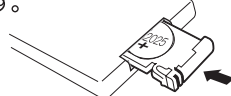
2. 新しい電池を電池受けに入れる

ボタン電池CR2025の+側を上にして電池受けに入れます。



3. 電池受けを戻す

電池受けをしっかりと元に戻します。



電源について

この製品はご家庭のAC100V電源と自動車電源(9-12V専用)および内蔵の充電式バッテリーパックで使える3電源方式です。

家庭用AC100V電源で使うには

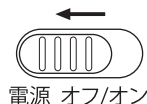
⚠ 注意

ACアダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。つぎの点にご注意ください。

- ※ 同梱のACアダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ※ ACアダプターはAC100V 50/60Hzのコンセントに接続してください。
- ※ ACアダプターを接続するときは電源を切ってください。
- ※ ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

1. 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。



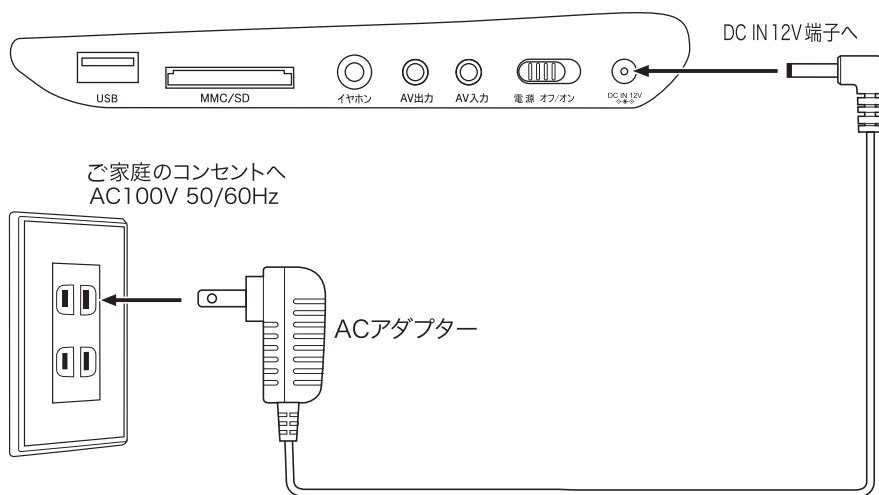
2. ACアダプタープラグを接続する

ACアダプタープラグをDC IN 12V 端子に接続します。

3. ACアダプターをコンセントに接続

ACアダプターをコンセント(AC100V)に接続します。電源周波数は50Hzまたは60Hzのどちらの地域でもそのままご使用できます。

※ 使わないときは、コンセントからACアダプターを抜いてください。



電源について

自動車用DC12V電源で使うには

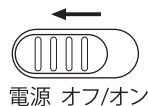
⚠ 注意

カーアダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。
つぎの点にご注意ください。

- ※ 同梱のカーアダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ※ カーアダプターはDC12Vの電源に接続してください。絶対に24Vの電源には接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- ※ 車で使う時は仮固定してください。仮固定せずに使うと急ブレーキなどで本機が移動し、けがや運転の妨げになり危険です。
- ※ 車に恒久的に取り付けしないでください。また、運転の妨げになる場所、エアバッグが作動する時の妨げになる場所に置かないでください。事故やけがの原因となります。
- ※ 運転する人は運転中に画面を見たり、操作をしないでください。事故の原因となります。
- ※ カーアダプターを接続するときは電源を切ってください。
- ※ ご使用にならない場合は、カーアダプターを電源ソケットから抜いてください。
- ※ カーアダプターをご使用になるときは、先にエンジンを始動してから接続してください。

1. 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。

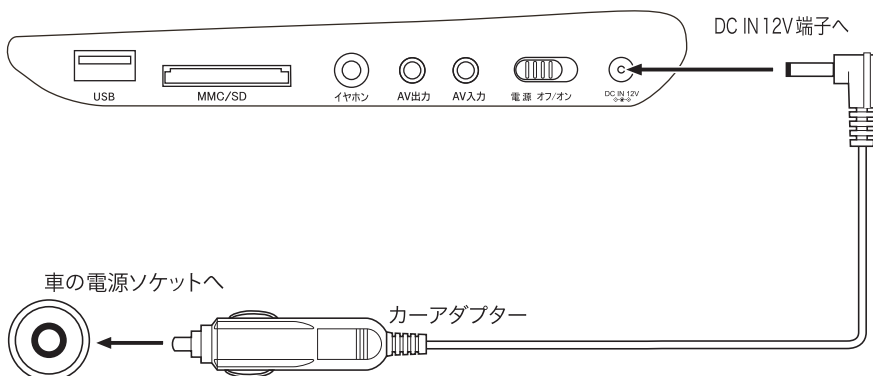


2. カーアダプタープラグを接続する

カーアダプタープラグをDC IN 12V 端子に接続します。

3. カーアダプターを車の電源ソケットに接続

カーアダプターを電源ソケットに接続します。



電源について

内蔵の充電電池で使うには(充電方法)

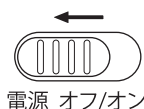
⚠ 注意

内蔵充電電池およびACアダプターの誤った使い方は、火災や感電、故障の原因になります。つぎの点にご注意ください。

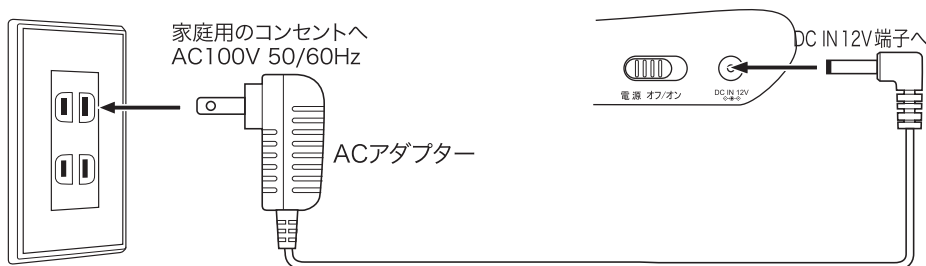
- ※ 同梱のACアダプター以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ※ ACアダプターはAC100V 50/60Hzのコンセントに接続してください。
- ※ ACアダプターを接続するときは電源を切ってください。
- ※ ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ※ 充電が完了したら、速やかにACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ※ 内蔵バッテリーは繰り返しの充電により消耗しますが、交換はできません。

1. 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。



2. 15ページの“ACアダプターで使うには”にしたがって、ACアダプターを接続する



3. ACアダプターを接続すると充電が開始され、充電ランプ(赤)が点灯する

充電ランプが点灯



- ・赤…充電中
- ・緑…充電完了

4. 充電が完了すると充電ランプが緑の点灯に変わる

充電完了までの目安

- ・ 家庭用コンセントからの充電で本機の電源を切った状態の場合、約 4 時間です。
- ※ 充電が完了したらすぐに接続を外してください。

使用時間の目安

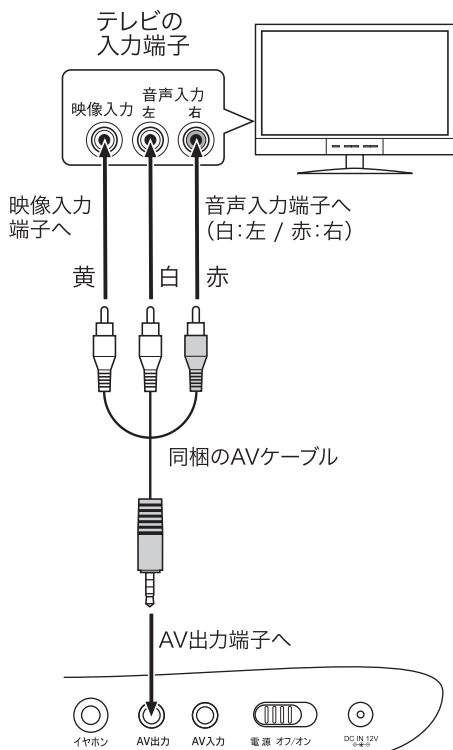
- ・ DVD 連続再生時間…約 2 時間
- ・ フルセグ放送連続視聴時間…約 2 時間

※ 電池残量が少なくなると画面に  マークが点滅表示されます。

接続方法

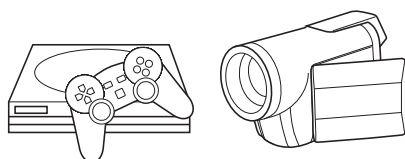
テレビとの接続

- 機器の接続をおこなうときは、必ず電源を切りACアダプターをコンセントから抜いておこなってください。
 - 接続の詳細はテレビの取扱説明書を参照してください。
- ※ 本機の音量も調節してください。本機の音量が小さかったり消音になっていると、テレビからの音が小さかったり、出なかったりします。
- ※ AV出力端子の奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないとテレビに映らない場合があります。
- ※ 4極のミニプラグ(映像/音声)の配線仕様は統一されておりませんので、他社のケーブルを接続した場合、映らない場合があります。付属のAVケーブルをご使用ください。



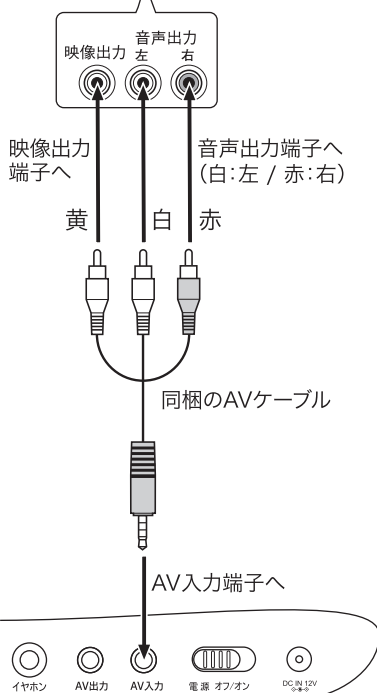
外部機器との接続

- 接続の詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください。
- ※ AV入力端子の奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと画面に映らない場合があります。



ゲーム機

ビデオカメラ



準備

液晶画面について

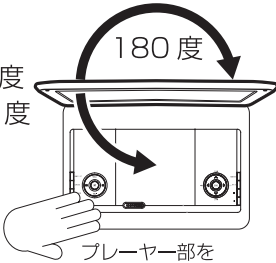
- 見やすい角度に調節することができます。

プレーヤー部をしっかりと押さえながら、
角度を調節します。

- ※ 液晶画面を押さないでください。
- ※ 調節範囲以上に回さないでください。故障の原因になります。

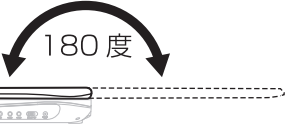
※角度を調節する際に液晶画面を押さないよう
お気を付けてください。

回転範囲：
時計方向に 180 度
反時計方向に 90 度

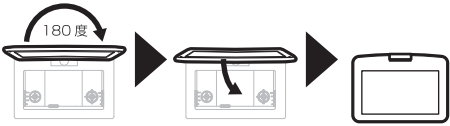


プレーヤー部を
押さえながら
調節してください。

開閉範囲：180 度



使用例 タブレット型で使うことができます。



時計回りに
180 度回す

画面を倒す

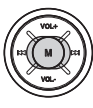


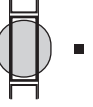



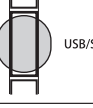
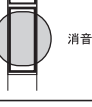
- ・ 可動範囲を超えて動かさないでください。
- ・ 指等をはさまないように気を付けてください。

準備

お知らせ (本体とリモコンの互換操作)

本取扱説明書ではリモコン操作を中心に説明していますので、本体での操作は下表を参照ください。

本体	リモコン	機能
	CH▲	上に移動するときに押します。 地上デジタル放送視聴時、チャンネルが進みます。
	CH▼	下に移動するときに押します。 地上デジタル放送視聴時、チャンネルが戻ります。
	◀	左に移動するときに押します。 早戻しを行います。 押すたびに速度が変わります。
	▶	右に移動するときに押します。 早送りをを行います。 押すたびに速度が変わります。
	決定	選択した内容を決定します。 地上デジタル放送視聴時、CH情報を表示します。
	+ 音量	音量を大きくします。
	音量 -	音量を小さくします。
	◀◀	再生中に押すとひとつ前のチャプターまたはトラックに移動します。
	▶▶	再生中に押すと次のチャプターまたはトラックに移動します。

本体	リモコン	機能
	タイトル	DVD再生時にタイトルメニューを表示します。
	機能切替	DVD / AV入力 / 地上デジタル放送を切り替えます。
	設定	DVD / 地上デジタル放送の設定画面を表示します。
	■	再生を仮停止/停止します。
	▶▶	再生を開始したり、一時停止します。 早送りや早戻し時には、通常再生に戻ります。
	画面 オフ	画面表示を消します。 画面表示するときはもう一度押します。
	音声切替	音声を切り替えます。 押す度に言語や種類、音声設定等が切替ります。
	USB/SD	メディアを切り替えます。 押す度に、ディスク/USB/SDに切替ります。
	消音	音声を消します。 もう一度押すと音声に戻ります。

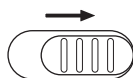
※ディスクによっては使えない機能があります。

準備

電源の入/切

● 本体の電源を入れる

電源スイッチを「オン」側へスライドします。



電源 オフ/オン

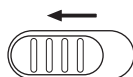
電源ランプが緑色で点灯し、電源が入ります。



電源ランプが点灯

● 本体の電源を切る

電源スイッチを「オフ」側へスライドします。



電源 オフ/オン

電源ランプが消灯し、電源が切れます。



電源ランプが消灯

- ご使用にならないときは、電源を切ってください。

音量の調節



音量



を押して音量を調節する

音量レベルは00から20です。

消音



消音

を押す

もう一度押すと元の音量になります。

液晶画面を消す



を押す

液晶画面が消えます。

もう一度押すと液晶画面が表示されます。

画面アスペクト比の切替



を押す

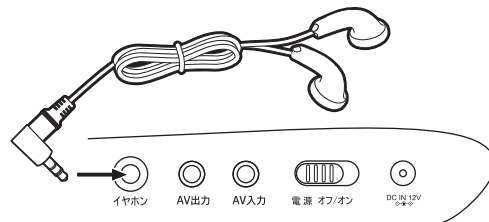
押すたびに画面アスペクト比を切り換えます。

16:9 ←→ 4:3
(ワイド画面サイズ) (従来のテレビ画面サイズ)

イヤホンで聴くとき

1. 音量を最小にする
2. イヤホンプラグをイヤホン端子に接続する
3. 音量を調節する

※ イヤホンを長時間使用しますと耳に悪影響を与えることがありますのでご注意ください。



その他

ボタン操作で無効な操作をすると図のような表示が出ます。



準備

数字入力について

本取扱説明書では数字ボタンでの入力操作があります。数字の入力方法は下記の方法にしたがってください。

タイトル/チャプター/トラックの番号入力

- 1～9の時は ① ～ ⑨ を押し、
10以上の時は最初に ⑪/⑩+ を押し、次に ⑩/① ～ ⑨ を押します。
0は ⑩/① を押します。

(例) 8のときは ⑧ を押します。

10のときは ⑪/⑩+ を1回押し、次に ⑩/① を押します。

32のときは ⑩/① を3回押し、次に ② を押します。

地上デジタル放送のチャンネル番号入力

- 1～9、12は ① ～ ⑨、⑫ を押し、
10は ⑩/① を、11は ⑪/⑩+ を押します。

各種ファイル再生の時の番号入力

- 1～9の時は ① ～ ⑨ を押し、10以上の時は多い桁の数字から押します。
0は ⑩/① を押します。

(例) 8のときは ⑧ を押します。

10のときは ① を押し、次に ⑩/① を押します。

106のときは ① を押し、次に ⑩/① を押し、最後に ⑥ を押します。

DVD/オーディオCDの再生

基本操作

1. ディスクカバーオープンボタンを左へスライドする。

ディスクカバーが開きます。

2. ディスクをセットする

レーベル面を上にして、カチッと音がするまで、ディスク保持部へ確実にはめ込みます。レンズ部には触らないよう、注意してください。

3. ディスクカバーを閉める

4. 電源を入れる

自動的に読み込みがはじまり、読み込みが終了すると再生がはじまります。

- DVDによっては本編の再生ではなく、メニュー画面が表示されるものがあります。その場合は でメニュー項目を選択し を押してください。

ディスクを取り出すには

ディスクカバーオープンボタンを左へスライドして、ディスクカバーを開き、ディスクトレイの切り欠き部分から、ディスクを軽く持ち上げてください。

※ディスクの取り出しは、完全にディスクの回転が止まってから、行ってください。回転中のディスクに触れると、けがをしたり、故障の原因になったりします。

再生/一時停止

1. を押す

停止時には、再生が始まります。

再生中に押すと一時停止します。

一時停止中は表示が できます。



2. 一時停止中に を押す

通常の再生に戻ります。

仮停止/停止

を1回押す

仮停止となり、画面に表示が できます。

再生ボタンを押して継続

仮停止の時に を押す

停止したところから再生が始まります。

仮停止の時に をもう一度押す。

再生を停止します。

次回再生は、ディスクの初めから始まります。

■ラストメモリー機能(レジューム機能)について
一般設定でラストメモリーを「オン」に設定すると、電源を切っても前回停止した位置から再生することができます。P34の使用法・条件を確認ください。

次へ/前へ

再生中または一時停止中に操作をします。

を押す

次のチャプター/トラックに移動し再生をはじめます。

を押す

前のチャプター/トラックの先頭に移動し再生をはじめます。

早送り/早戻し

再生中に操作します。

を押す

押すたびに再生速度が5段階で切り換わり、5段階目で再度押すと通常の再生に戻ります。

2倍 → 4倍 → 8倍 → 16倍 → 32倍
← 通常の再生 →

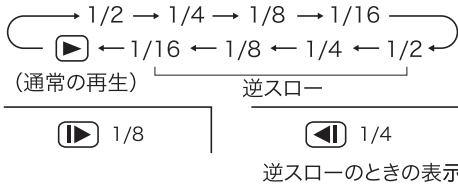
同様に を押すと早戻し再生をします

DVD/オーディオCDの再生

スロー再生 (DVD)

スローを押す

再生中または一時停止中に押すとスロー再生になります。押すたびに図のように遅くなり、1/16のあと、逆方向のスローになります。画面には速度が表示されます。



※ スロー再生中は音声は出ません。

リピート再生

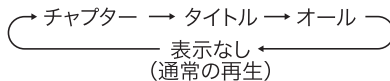
再生中のディスク/タイトル/チャプター/トラックを繰り返して再生します。

※ ディスクによってはこの機能は使えません。

リピートを押す

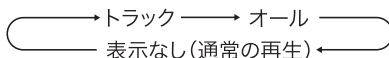
ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。

DVD



- **チャプター** : 選択したチャプターがリピート再生されます。
- **タイトル** : 選択したタイトルがリピート再生されます。
- **オール** : ディスクのすべてがリピート再生されます。

オーディオCD



- **トラック** : 選択したトラックがリピート再生されます。
- **オール** : すべてのトラックがリピート再生されます。

アングル

複数のアングルが記録されたDVDを再生するときに、同じシーンを異なるアングルから見ることができます。

再生中にアングルを押す

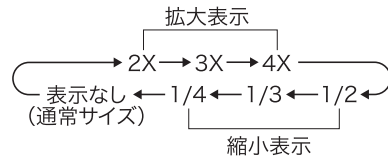
ボタンを押すたびに異なるアングルに切り換わります。

※ この機能が記録されていないDVDではこの機能は使えません。アングル対応かどうかはディスクのケースやジャケットをご覧ください。

ズーム

ズームを押す

ボタンを押すたびに倍率が切り換わります。画面には倍率が表示されます。



※ 表示される倍率は実際の倍率とは異なり目安です。

- 拡大表示されているときには拡大範囲が表示され ▲ ▼ ◀ ▶ を押して画像を移動することができます。

※ ディスクによってはこの機能は使えません。

メニュー操作

再生中にメニューを押す

ディスクのメニュー画面が表示されます。表示されるメニューはソフトにより異なります。

※ ディスクによってはこの機能は使えません。

視聴していたシーンに戻るには (メニュー) を押します。

DVD/オーディオCDの再生

音声切替

DVD

- 複数の音声記録したDVDを再生する場合、音声の選択ができます。

再生中に を押す

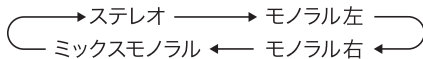
ボタンを押すたびに音声の番号、種類、音声言語が画面に表示され、音声を切り替えることができます。

- ※ この選択は複数の音声データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。
- ※ 音声の種類および数はソフトにより異なります。
- ※ ディスクによってはこの機能は使えません。

オーディオCD

を押す

ボタンを押すたびに他の音声設定が画面に表示され、音声を切り替えることができます。



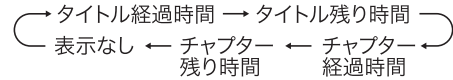
画面表示

を押す

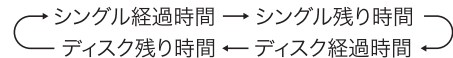
ボタンを押すたびに画面表示が切り替わります。

さらに押すと画面表示が消えます。

DVD



オーディオCD



字幕切替

- 複数の言語による字幕を記録したDVDを再生する場合、字幕言語の選択ができます。

再生中に を押す

ボタンを押すたびに字幕の番号、字幕言語が画面に表示され、字幕を切り替えることができます。

- ※ この選択は複数の字幕データが入っているDVDを再生する場合のみ有効です。
- ※ 字幕の種類および数はソフトにより異なります。
- ※ ディスクによってはこの機能は使えません。

DVD/オーディオCDの再生

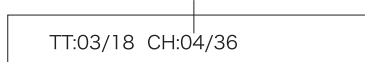
数字ボタンによる再生(再生中)

チャプター番号を指定して再生する。

1. DVD再生中に任意の数字ボタンを押す (22ページ参照)

※ 無効な数字は入力できません。

チャプター番号4を入力したとき



2. 指定したシーンから再生がはじまります

※ ディスクによってはこの機能は使えません。

※ チャプターがひとつしかないタイトルを再生しているときはこの機能は使えません。

数字ボタンによる再生(停止中)

1. DVD停止中に任意の数字ボタンを押す (22ページ参照)

タイトル入力画面が表示されます。

タイトル番号入力



2. 数字ボタンで視聴したいタイトル番号を入力 (22ページ参照)

※ 無効な数字は入力できません。

3. 指定したタイトルの再生が始まります

※ チャプター入力画面が表示された場合は、視聴したいチャプター番号を入力します。

タイトル番号5を入力したとき

チャプター番号入力



※ しばらく操作をしないとチャプター入力画面は消えます。

※ ディスクによってはこの機能は使えません。

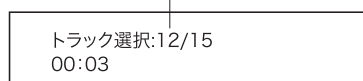
数字ボタンによる再生(オーディオCD)

1. 任意の数字ボタンを押す

(22ページ参照)

トラック入力画面が表示されます。

トラック(曲)番号12を入力したとき



2. 指定したトラックから再生がはじまります

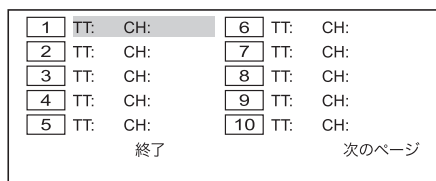
※ ディスクによってはこの機能は使えません。

プログラム再生

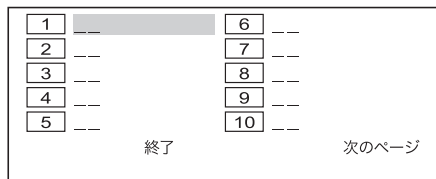
プログラム設定した順序で再生します。

1. を押す

プログラム設定画面が表示されます。



● タイトルが一つしかないDVDまたはオーディオCDでは図のような設定画面になり、チャプター番号またはトラック番号のみを入力します。



DVD/オーディオCDの再生

2. 数字ボタン ①～⑩/0 でタイトル

番号を入力(22ページ参照)

カーソルがチャプター番号入力欄に移動します。

※ 無効な数字は入力されません。

3. 数字ボタン ①～⑩/0 でチャプター番号を入力

カーソルが次のプログラム番号に移動します。

1	TT:03	CH:18	6	TT:	CH:
2	TT:	CH:	7	TT:	CH:
3	TT:	CH:	8	TT:	CH:
4	TT:	CH:	9	TT:	CH:
5	TT:	CH:	10	TT:	CH:
	終了		開始		次のページ

4. 2.～3.を繰り返し、プログラム設定します

5. 10 番目以降を入力する時は ▲ ▼ ◀ ▶ で“次のページ”にカーソルを合わせ 決定 を押すか ▶▶ を押す

● プログラムできる数は20です。

● 前のプログラム設定画面に戻るときは、▲ ▼ ◀ ▶ で“前のページ”にカーソルを合わせ 決定 を押すか ◀◀ を押すと戻ります。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
前のページ	終了		開始		

● 入力したプログラムを訂正するとき、▲ ▼ ◀ ▶ で入力したプログラムにカーソルを合わせ、再度プログラム入力 ▲ ▼ ◀ ▶ で他のプログラムにカーソルを移します。

※ 再生開始後のプログラムの訂正はできません。

6. 入力が完了したら ▲ ▼ ◀ ▶ で“開始”にカーソルを合わせ 決定 を押す

プログラム再生を開始します。

● プログラム再生中、プログラム設定を全て削除するときは ^{プログラム} 番組表 を押し、プログラム設定画面に戻し ▲ ▼ ◀ ▶ で“停止”にカーソルを合わせ 決定 を押します。

4	TT:02	CH:11	9	TT:03	CH:01
5	TT:05	CH:02	10	TT:04	CH:02
	終了		停止		次のページ

※ プログラム再生が終了するとプログラム設定は消去されます。

※ 電源を切る、停止ボタンを2回押す、ディスクを取り出した場合などはプログラムが解除されます。

● プログラム設定画面を閉じるときは ^{プログラム} 番組表 を押すか ▲ ▼ ◀ ▶ で“終了”にカーソルを合わせ 決定 を押します。

14	TT:04	CH:03	19	TT:07	CH:02
15	TT:08	CH:02	20	TT:04	CH:06
前のページ	終了		開始		

USBメモリ/SDカードについて

⚠ 注意

本製品でUSBメモリ/SDカードを使う時、以下の注意事項を必ずお守りください。

データの損失、USBメモリ/SDカードの破損については保証いたしかねます。

- ※ USBメモリ/SDカードの読み込み中、再生中または動作終了直後に、USBメモリ/SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
- ※ 本製品で再生できるUSB2.0対応のUSBメモリは最大16GBまでです。
- ※ 本製品で再生できるSDカードは最大16GBです。
- ※ 対応フォーマットはFAT32、NTFSです。
- ※ 記録状態によっては再生できない場合があります。

USBメモリ/SDカードの接続

1. USBメモリ/SDカードを挿入する

本機側面のUSB端子/SDカードスロットに挿入します。

2. 電源を入れる


3. で“DVD”を選択しDVD再生に切り換える

4. を押す

“切換中”の表示が出た後、フォルダー/ファイルが表示されます。

切換に時間がかかる場合があります。

- USBメモリ再生の場合、ディスクが入っていないときは押す必要はありません。
- SDカード再生の場合、ディスクおよびUSBメモリが入っていないときは押す必要はありません。

- SDカード再生の場合、ディスクまたはUSBメモリのどちらかが挿入されているときは1回押します。
- SDカード再生の場合、ディスクが入っていてUSBメモリが挿入されているときは2回押します。
- ディスク再生に戻るときは  を1～2回押します。
- MP3/WMA、JPEGの再生については、29ページの説明にしたがってください。

USBメモリ/SDカードの取り出し

電源を切り、USBメモリ/SDカードを取り出す

- ※ USBメモリ/SDカードの読み込み中、再生中または動作終了直後に、USBメモリ/SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。

各種ファイルの再生

再生できるファイル形式

本機ではディスク、USBメモリまたはSDカードに記録されたMP3/WMA、JPEGファイルを再生できます。

対応ビットレート

MP3: 48~320kbps

WMA: 48~256kbps

※ MP3/WMA、JPEGファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。

基本操作

1. CD、USBメモリまたはSDカードをセットする

2. CD、USBメモリまたはSDカードを選ぶ

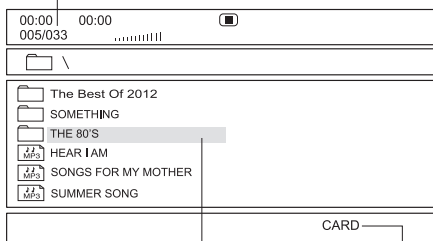
- フォルダ- / ファイルが表示されます。

お知らせ

※ 本機では表示できない文字や内容があります。

3. ▲ ▼ で再生したいフォルダ- / ファイルをカーソルで選択する

フォルダ-およびファイル番号 / 総フォルダ-およびファイル数



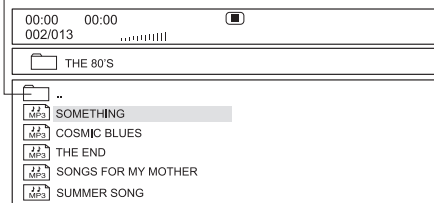
選択したフォルダ- / ファイル(オレンジのカーソル)

DISC/USB/CARD

- プログラム(番組表)を押すとファイルだけの表示になり、再度押すとフォルダ- / ファイルの表示になります。

- フォルダ-を選択したときは、フォルダ-内のファイルを選択する
- フォルダ-を選択したあと(▶)または(決定)を押すとフォルダ-内を見ることができます。
- 上の階層に移動するときは(◀)を押すか、“□ ..”を選択し(決定)を押します。

上の階層画面に戻ります



- 停止状態で(▶▶)を押すと次のページに移動し、(◀◀)を押すと前のページに移動します。

4. (決定) を押す

選択したファイルから再生がはじまります。

JPEGファイルについて

- JPEGファイルを選択すると、スライドショーがはじまります。
- スライドショーの再生または一時停止中に(▲) (▼) (◀) (▶) で画像を反転/回転させることができます。

DVDと同様の操作

- 一時停止 23ページ参照
- 次へ/前へ 23ページ参照
- 早送り/早戻し 23ページ参照 (MP3/WMAのみ)

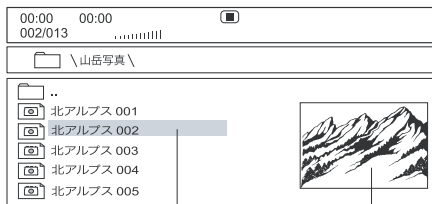
各種ファイルの再生

停止 (MP3/WMA のとき)

■ **を押し**
再生を停止します。

停止 (JPEG のとき)

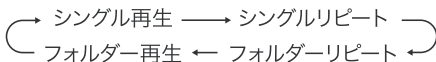
■ **を押し**
再生中に押しと停止し、フォルダー/ファイルとサムネイル(縮小画像)が表示されます。



現在のファイル
(オレンジのカーソル) サムネイル表示

リピート再生

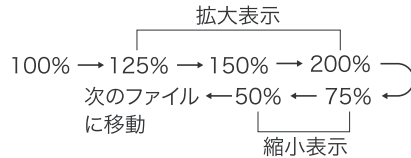
■ **を押し**
ボタンを押すたびに下記のような種類のリピートモードに切り換わります。



- シングル再生 : 選択したファイルが再生されます。
 - シングルリピート : 選択したファイルがリピート再生されます。
 - フォルダールリピート : 選択したフォルダールがリピート再生されます。
 - フォルダール再生 : 選択したフォルダールが再生されます。
- ※ JPEGファイル再生中に操作をしたときはフォルダール再生はありません。
- ※ JPEGのリピート再生中はリピート名が表示されます。

ズーム

■ **を押し**
ボタンを押すたびに倍率が下記の順序で切り換わります。
画面には倍率が表示されます。



※ ズーム表示中はズーム表示は消えません。

- ズーム表示中は一時停止の状態になります。
■ **を押し**とスライドショーが再開されます。
- ※ 表示される倍率は実際の倍率とは異なり目安です。
- 拡大表示されているとき ▲ ▼ ◀ ▶ を押しして画像を移動することができます。

数字ボタンによる再生

1. 数字ボタン **①** ~ **⑩/①** で聴きたいファイル番号を入力する (22ページ参照) ファイル入力画面が表示されます。



数字入力(緑のカーソル)

MP3/WMA、JPEG停止中

数字入力



JPEG再生/一時停止中

- フォルダールも1つのファイルとして認識されます。
2. 指定したファイルから再生がはじまります

CDからUSBメモリ/SDカードへ録音

- 本製品ではCDからUSBメモリ/SDカードへのMP3録音ができます。

録音方法

1. CDをセットする

2. を押す

※ ディスクが選択されていないときは、ディスク再生に切り換えてください。
設定画面が表示されます。

3. USBメモリ、SDカードをセットする

選択されている設定メニュー(黄色)

CD RIP			
OPTIONS		TRACK	
Speed	Normal	track01	02:33
Bitrate	128kbps	track02	02:22
Create ID3	Yes	track03	02:01
Device	USB1	track04	02:43
SUMMARY		track05	02:13
Selected Track	0	track06	02:14
Selected time	00:00	track07	01:59
Start	Exit	Sel All	Sel None

4. で設定したい設定メニューを選択する

5. を押して、設定値を決める

押すたびに設定値が変わります。
設定項目および設定値は以下のようになります。

Speed

録音速度を設定します。

- Normal : 等倍速
- Fast : 高速(録音中、音が出ません)

Bitrate

ビットレートの設定。

対応ビットレートは、96~320kbpsです。
より良い音質のためには、128kbps以上のビットレートでの録音をおすすめします。

- 96kbps
- 112kbps
- 128kbps
- 192kbps
- 256kbps
- 320kbps

Create ID3

お知らせ

※ 設定メニューはありますが、本機ではこの機能は使えません。

Device


録音するUSBメモリまたはSDカードを選択します。

- USB1 : USBメモリ
- CARD : SDカード
- none : 何も差し込まれていないとき

6. で録音するトラック(曲)にカーソルを合わせ を押す チェックマークが表示されます。

チェックマーク

CD RIP			
OPTIONS		TRACK	
Speed	Normal	track01	02:33
Bitrate	128kbps	track02	02:22
Create ID3	Yes	track03	02:01
Device	USB1	track04	02:43
SUMMARY		track05	02:13
Selected Track	1	track06	02:14
Selected time	02:01	track07	01:59
Start	Exit	Sel All	Sel None

カーソルを合わせて  を押すと次のトラックが表示されます

7. 6.の操作を繰り返して、録音したいトラックを選択する

CDからUSBメモリ/SDカードへ録音

- CDに入っている全てのトラックを録音するときは“Sel All”を選び **決定** を押します。
- チェックしたトラックのチェックをはずすには、トラックにカーソルを合わせ **決定** を押します。
チェックマークが消えます。
- 全てのトラックのチェックをはずすには“Sel None”にカーソルを合わせ **決定** を押します。
- 中止するときは“Exit”にカーソルを合わせ **決定** を押します。

CD RIP	
OPTIONS	TRACK
Speed Normal	✓ track01 02:33
Bitrate 128kbps	track02 02:22
Create ID3 Yes	✓ track03 02:01
Device USB1	track04 02:43
	✓ track05 02:13
	✓ track06 02:14
	✓ track07 01:59
SUMMARY	
Selected Track 5	
Selected time 11:00	
Start	Exit Sel All Sel None

中止する
全てのトラックを選ぶ
全てのチェックをはずす

8. “Start”にカーソルを合わせ **決定** を押す

録音が始まります。

カーソルを合わせて **決定** を押すと前のトラックが表示されます

CD RIP	
OPTIONS	TRACK
Speed Normal	track08 02:32
Bitrate	✓ track09 02:39
Create ID3 Yes	track10 02:36
Device USB	✓ track11 02:31
	✓ track12 02:37
	✓ track13 02:29
SUMMARY	
Selected Track 9	
Selected time 21:16	
Start	Exit Sel All Sel None

Startにカーソルを合わせて **決定** を押す

● 録音が始されると、録音状態が表示されます。

録音を中止する
全体録音進行状況
トラック録音進行状況

CD RIP	
Ripping	Selected Track
Track progress	track01 done
Total progress	track03 done
Cancel	track05 done
SUMMARY	track06 45%
Now ripping	track07 01:59
Track 04/09	track09 02:39
	track11 02:31

録音完了

録音終了および録音中のトラック数/全録音トラック数

⚠ 注意

- ※ 録音中は“決定”と“電源”以外のボタンは使用できません。
- ※ 録音中は電源を切らないでください。ファイルが破損したり、USBメモリ/SDカードが破損することがあります。
- ※ SDカードをLock(書き込み禁止)にしても録音ができます。ご注意ください。
- ※ 録音を途中で中止した場合、それまでのデータが記録されます。
- ※ 録音データはすべて“RIP_000”フォルダ内に保存されます。ディスクによる振り分け等はいりません。ファイル名には録音した順に自動的に番号が振られます。パソコンなどで、フォルダ分けやファイル名を変更するなどを行ってください。

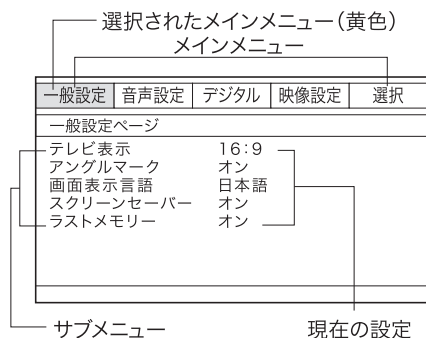
DVD設定

- DVD設定では本製品にさまざまな設定をすることができます。
- 一度設定しますと、設定を変えるまでメモリに保存されます。

設定方法

1. 停止状態のとき **設定** を押す

設定画面が表示されます。



2. **◀ ▶** でメインメニューを選択し **▼** または **決定** を押す

一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
一般設定ページ				
音声言語	日本語	英語		
字幕言語	日本語	フランス語		
メニュー言語	日本語	スペイン語		
視聴制限		中国語		
パスワード変更		日本語		
設定リセット		韓国語		
		ロシア語		
		タイ語		

現在の設定 (茶色)

3. **▲ ▼** でサブメニューを選択し **決定** を押す

設定メニューにカーソルが移動します。

- **▶** を押して設定メニューにカーソルを移動することもできます。

4. **▲ ▼** で設定を選択する

選択したサブメニュー
(緑色のカーソル)

一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
一般設定ページ				
音声言語	日本語	英語		
字幕言語	日本語	フランス語		
メニュー言語	日本語	スペイン語		
視聴制限		中国語		
パスワード変更		日本語		
設定リセット		韓国語		
		ロシア語		
		タイ語		

現在の設定 (茶色のカーソル)

新しい設定 (緑色のカーソル)

5. **決定** を押す

※ 設定メニューによっては設定の方法が異なります。
それぞれの操作方法にしたがってください。

- 他にも設定するときは3.以下の操作を繰り返します。
- 他のメインメニューを設定するときは **◀ ▶** を押し、何もサブメニューが選択されていない状態に戻し、2.以下の操作をします。

6. DVD設定を終了するときは **設定** を押す

DVD設定

一般設定

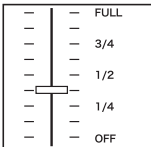
設定メニュー	説明
テレビ表示	接続するテレビ画面の種類を設定します。 4:3/PS : 横縦比4:3パンスキャン画面に設定されます。ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。 4:3/LB : 横縦比4:3レターボックス画面に設定されます。ワイド画像は全て映りますが上下が黒い画面になります。 16:9 : 横縦比16:9のワイド画面に設定されます。
アングルマーク	オンにすると、複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルマークを表示します。
画面表示言語	画面に表示される言語を設定します。 英語または日本語から選択します。
スクリーンセーバー	オンにするとモニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約5分経過するとロゴを画面上で動かします。
ラストメモリー	設定でラストメモリーを「オン」に設定すると電源を切っても前回停止した位置から再生することができます。 <使用方法> ビデオディスクの再生中に「停止」ボタンを1回押して停止させてください。ディスクカバーを開けディスクの回転が停止したことを確認してから電源をオフにします。再び電源をいれたときに前回停止した位置から再生されます。 (ディスクによっては「オン」でも機能しない場合があります。) <条件・注意> ※ラストメモリー (レジューム) 機能は、DVD-Videoのみ有効です。 録画されたディスクには対応していません。 ※ラストメモリー (レジューム) 機能は、ディスクによって制限があり、正常に動作しないことがあります。

音声設定

設定メニュー	説明
ダウンミックス	5.1チャンネル等マルチチャンネルで記録されたディスクの音声信号をフロント2チャンネルに変換させて再生します。 LT/RT : ダウンミックスモード ステレオ : 通常のステレオ

DVD 設定

デジタル

設定メニュー	説明
デュアルモノ	<p>ステレオのチャンネル数を設定します。</p> <p>ステレオ : 通常のステレオ モノラル左 : 左側の音のみ両側のスピーカーから出る モノラル右 : 右側の音のみ両側のスピーカーから出る ミックスモノラル : 左右ミックスのモノラル</p>
ダイナミック	<p>ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、ダイナミックレンジを設定します。</p> <p>▲ ▼ で調節して 決定 を押します。</p> 

映像設定

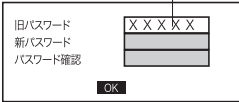
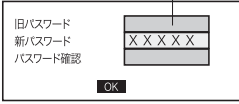
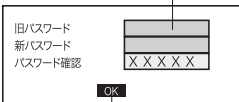
設定メニュー	説明
シャープネス	<p>画面の鮮明度を設定します。</p> <p>高、中、低から選択します。</p>
明るさ	<p>明るさを調節します。</p> <p>◀ ▶ で調節して 決定 を押します。</p> <p>設定範囲は-16~+16です。</p>
コントラスト	<p>コントラストを調節します。</p> <p>◀ ▶ で調節して 決定 を押します。</p> <p>設定範囲は-16~+16です。</p>
彩度	<p>鮮やかさを調節します。</p> <p>◀ ▶ で調節して 決定 を押します。</p> <p>設定範囲は-9~+9です。</p>
色相	<p>色あいを調節します。</p> <p>◀ ▶ で調節して 決定 を押します。</p> <p>設定範囲は-9~+9です。</p>

DVD設定

選択

設定メニュー	説明
音声言語	<p>音声言語を設定します。</p> <p>英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語から選択します。</p> <p>※ ディスクのメニューより設定してください。(ディスクメニューで設定した言語が優先します)</p>
字幕言語	<p>字幕言語を設定します。</p> <p>英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語から選択します。</p> <p>※ ディスクのメニューより設定してください。(ディスクメニューで設定した言語が優先します)</p>
メニュー言語	<p>ディスクメニューの言語を設定します。</p> <p>英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語から選択します。</p> <p>※ ディスクのメニューより設定してください。(ディスクメニューで設定した言語が優先します)</p>
視聴制限	<p>子供に見せたくないソフトなどを制限する機能。ただし、この機能を備えたDVDディスクのみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1 KID SAFE : 子供に安心して見せられる ● 2 G : 保護者の指導なしで見せられる、一般向け映画 ● 3 PG : 父兄・保護者同伴 ● 4 PG 13 : 13歳以下は親同伴 ● 5 PGR : 15歳以下は親同伴 ● 6 R : 17歳以下は親同伴 ● 7 NC 17 : 17歳未満は視聴禁止 ● 8 ADULT : 成人向けの内容 <p>1. ▲ ▼ で設定を選択し (決定) を押す パスワード入力画面が表示されます。</p> <p>2. 数字ボタン (1) ~ (10/0) でパスワードを入力 初期設定のパスワードは“888888”です。 黒色になり設定完了</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> パスワード <input style="width: 60px;" type="text" value="X X X"/> OK </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> パスワード <input style="width: 60px;" type="text" value="888888"/> OK </div> </div> <p>パスワード入力(黄色) ※最後のパスワードは入力されません。</p> <p>3. (決定) を押して設定ページに戻る</p>

DVD設定

設定メニュー	説明
パスワード変更	<p>パスワードを設定、変更します。 視聴制限変更に必要なパスワードの変更ができます。</p> <p>● パスワード変更 初期設定のパスワードは“888888”です。</p> <p>1. 数字ボタン ① ～ ⑩/0 で旧パスワードを入力 初期設定のパスワードは“888888”です。</p> <p>パスワード入力欄(黄色)</p>  <p>2. 次に新パスワードを入力</p> <p>パスワード入力欄(緑色)</p>  <p>3. さらに再確認のために新パスワードを再入力</p> <p>パスワード入力欄(緑色)</p>  <p>OKを押して設定完了</p> <p>4. ④ を押して設定ページに戻る</p>
設定リセット	工場出荷時の状態に戻します。

- ※ 製品バージョンの違いにより設定内容が表と異なる場合がございます。
- ※ ディスクの種類によって、設定機能が反映されない場合がございます。
- ※ 再生中は、一部の設定ができません。再生を完全に停止またはディスクやメモリーを取り外した状態で行ってください。

外部機器の再生

⚠ 注意

- ※ 接続するときは本機および外部機器の電源を切ってください。
- ※ あらかじめ本機および外部機器の音量を小さくしてください。

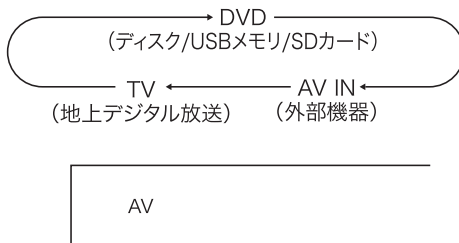
1. 外部機器を接続する

接続方法は18ページ参照

2. 本機および外部機器の電源を入れる

3. を押して“AV IN”に切り換える

押すたびに下記のように切り換えることができます。



4. 外部機器の再生をはじめる

5. 音量を調節する

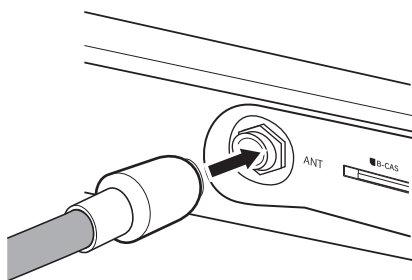
本機および外部機器の音量を調節します。

地上デジタル放送の視聴

- 本機では地上デジタル放送に加え、ワンセグ放送にも対応しています。
社団法人 地上デジタル放送推進協会
(D-pa) <http://www.dpa.or.jp/>

アンテナの準備 (ご家庭の地デジアンテナを使うとき)

1. 電源を切る
2. 市販のアンテナケーブルで、アンテナ入力端子とご家庭のアンテナ端子を接続する

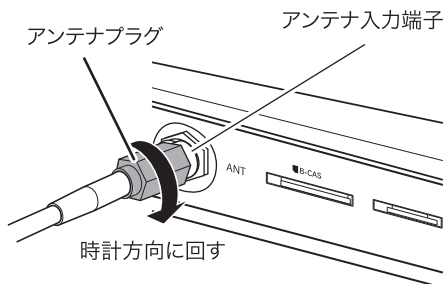


F型コネクター (市販品)

- 付属のワンセグ用簡易アンテナは窓際などの受信感度の良い場所に設置してください。ビルや地下、コンクリートの壁を使用した建物の中では受信できない場合があります。
- 付属のワンセグ用簡易アンテナで受信できない場合は、別売り市販品のF型同軸ケーブルを接続し受信を確認してください。
- アンテナを接続する場合は、必ず本製品の電源をオフにし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。ACアダプターはすべての接続が終わってからコンセントに接続してください。
- 地上デジタル放送を受信する場合、一部地域や環境施設によって電波が入らない地域がございます。ご了承下さい。

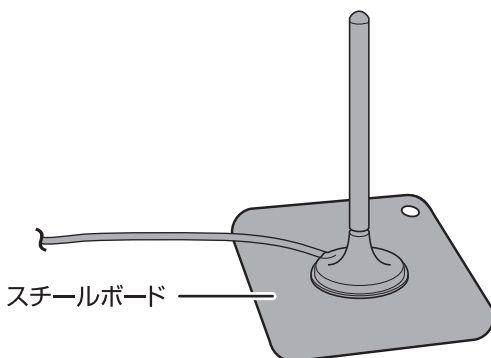
アンテナの準備 (同梱のワンセグ用アンテナを使うとき)

1. 電源を切る
2. 同梱のワンセグ用アンテナを接続する
キャップをはずし、アンテナ入力端子にアンテナプラグを接続します。



※ アンテナプラグを締め付ける際は、強く締め過ぎないでください。アンテナ入力端子が破損する恐れがあります。

3. アンテナを受信状態の良い場所に置く
アンテナの底面はマグネットになっていますので、金属面にはそのまま固定してください。
- ※ 金属面以外に設置する場合は、付属のスチールボードに乗せてください。スチールボードを使用しないと、受信感度が低下する場合があります。



地上デジタル放送の視聴

miniB-CASカードの準備

- ※ miniB-CASカードは地上デジタル放送の受信や、放送局からのさまざまな情報の受信に必要です。B-CASカードは常に本製品にセットしておいてください。

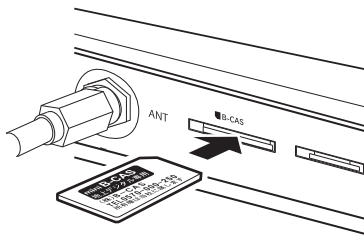
⚠ 注意

miniB-CASカードは以下の注意事項を必ずお守りください。

- ※ miniB-CASカードの抜き差しは電源を切った状態でおこなってください。
- ※ 地上デジタル放送は著作権保護のためminiB-CASカードが挿入されていないと視聴することができません。
- ※ miniB-CASカードに関する不明な点はB-CASカスタマーセンター
TEL 0570-000-250へお問い合わせください。

miniB-CASカードを挿入する


ラベル面を上にして端子を下にして挿入します。



カチッと音がして、押し戻されなくなるまで押し込みます。

取り出すときは、カチッと音がするまで押し込むと押し戻され出てきますので、そのまま引き抜いてください。

基本操作


1. アンテナを準備する
2. miniB-CASカードを入れる
3. 電源を入れる
4.  を押して“TV”に切り換える

初期設定

購入後初めて“TV”に切り替えると初期設定画面が表示されます。

初期設定
初期設定を下記の順に行います。
1) B-CASカードの認証
2) 地域設定
3) チャンネルスキャン
B-CASカードが入っていることを確認した後、決定ボタンを押してください。

決定 次へ

 ボタンを押すと、B-CASカードの確認画面に進みます。

B-CASカードの確認

カード種別
M003
カードID
0000-0123-0001-1234-5678
グループID
設定されていません

B-CASカードは問題ありません。

戻る 前へ

決定 次へ

 ボタンを押して、地域設定画面へ進みます。

地域設定

お住いの地方を選んでください。


北海道 東北
関東 信越/北陸
中部/東海 近畿
中国/四国 九州/沖縄

戻る 前へ

 選択

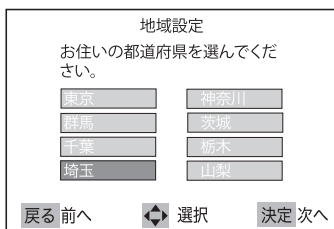
決定 次へ

    ボタンで地方を選択してください。

 ボタンを押して、都道府県選択画面へ進みます。

地上デジタル放送の視聴

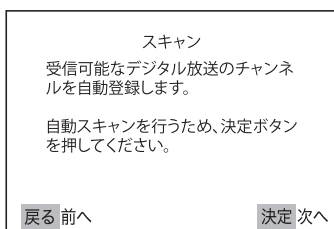
Ⓜ Ⓜ Ⓜ Ⓜ ボタンで都道府県を選択してください。



Ⓜ Ⓜ ボタンで視聴する放送局を選択してください。



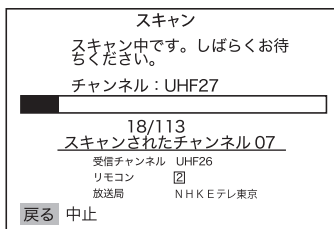
Ⓜ ボタンを押すと、スキャンの確認画面に進みます。



Ⓜ ボタンを押すと、スキャンされた全ての放送局が登録され、選択した放送局が映ります。

※ Ⓜ ボタンを押さずにDVDやAV入力に切替えたり、電源を切ると放送局が登録されません。
必ず Ⓜ ボタンを押して放送局を登録してください。

Ⓜ ボタンを押すと、スキャンが始まります。



これで初期設定は終了です。
地上デジタル放送をお楽しみください。

※ 再度チャンネルスキャンするには Ⓜ を押すか、“地上デジタル放送の各種設定”で“自動スキャン”をしてください (44 ページ参照)

スキャンが終わると、放送局一覧が表示されます。

Ⓜ ボタンを押してスキャンを中止した場合は、その時点までにスキャンされた放送局が一覧に表示されます。

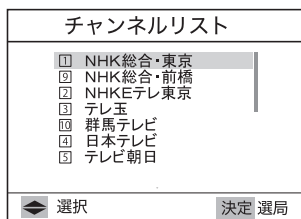
地上デジタル放送の視聴

地上デジタル放送視聴中にできること

チャンネルリスト

登録されたチャンネルを確認することができます。

リストを押すとチャンネルリストが表示されます。



チャンネルリストを消すには、もう一度リストを押します。

チャンネル切替 1

1. リストを押す

チャンネルリストが表示されます。



2. CH▲ CH▼ でチャンネルを選択し 決定を押す

選択したチャンネルに切替ります。

チャンネル切替 2

CH▲ CH▼ で選局をする。

チャンネルリストに登録された順番に、チャンネルを順送り/順戻しに切替ります。

チャンネル切替 3

数字ボタン 1 ~ 12 を押す

チャンネルリストに登録された番号のチャンネルに切替ります。

※チャンネルが切り替わるまでには数秒かかります。
※無効な数字を入力したときはチャンネルは切替りません。

音声切替

●主/副音声またはステレオ放送を視聴する場合、音声の切替えができます。

視聴中に 音声 を押す

ボタンを押すたびに主/副音声またはステレオ/モノラルに切替ります。

※番組によってはこの機能は使えません。

字幕切替

●字幕表示のできる番組を視聴する場合、字幕ありと字幕なしの切替えができます。

視聴中に 字幕 録音 を押す

ボタンを押す度に、第1言語/第2言語/字幕なしに切替ります。

※番組によってはこの機能は使えません。

地上デジタル放送の視聴

番組表/番組情報の表示

1. を押す

番組表が表示されます。

番組表	
NHK総合・東京	
	011-0 012-0
▲ 11日 09	2018FAFIワールドカップ 準決勝「フランスXベルギー」
10	00 NHKニュース こんにちは日本
▼ 11	2018FAFIワールドカップ 準決勝「フランスXベルギー」
移動 決定 選局 番組情報 詳細情報	

2. で時間帯を、 でチャンネルを選ぶ

※チャンネル移動時など、データ取得に時間がかかり視聴画面が途切れることがあります。

3. を押す

選択した番組の番組情報が表示されます。

番組情報	
011-0 NHK総合・東京	
2018FAFIワールドカップ 準決勝「フランスXベルギー」	
2018/7/11(水) 08:45~11:00	
サッカー	
詳細情報 マ試合開始 9:00 マムベベは疾走できるか?レカク・アソール・デブライネは? マGKにも注目!フランス・レロスXベルギー・クルクル マ大島伸幸 石山宏 出演者 【スタジオ解説】石山宏、【スタジオキャスター】右藤美奇、東川典考、【現地解説】大島伸幸、【現地	
ページ切替 決定 番組表へ	

- 視聴中に を押すと視聴中の番組の番組情報が表示されます。

チャンネル情報の表示

を押す

チャンネル情報が画面右上に表示されます。

受信モード
 地上D : 地上デジタル放送
 ワンセグ : ワンセグ放送
 自 : 自動切替

1		011-0	地上D
NHK総合・東京		午後00:11	
ひるすぎもつと		~関西~	
00:00		00:30	

- を押す度に、詳細表示・簡易表示・未表示が切替ります。

- 詳細表示時は
リモコン番号、チャンネル番号、受信モード、放送局名、現在時刻、番組名、番組開始時間、番組終了時間が表示されます。

- 簡易表示時は
リモコン番号、チャンネル番号、受信モード、放送局名、現在時刻、のみの表示になります。

中継局サーチ

中継局サーチとは?

自動車で移動するなど、現在受信しているチャンネルの放送局から離れて電波が弱くなった時に、そのチャンネルの中継局の電波を探して新たに受信します。

- を押して、中継局サーチを開始/終了します

地上デジタル放送設定

基本操作

●設定画面の表示のしかた

TVモード中に(設定)を押します。
メニュー画面が表示されます。

※画面の下方に表示される操作方法に従って操作してください。

設定	
スキャン	
地域設定	[東京]
受信レベル	
受信モード	[自動切換]
中継局自動サーチ	[オフ]
字幕	[なし]
その他	
◀ 選択	決定 決定 設定 終了

再度【設定ボタン】を押すと視聴画面に戻ります。
設定中の内容によっては操作が異なることがあります。

スキャン

・自動スキャン

引っ越しなど、使用する地域が変わったときに使用します。
それまでの登録チャンネルは全て消去され、新しく受信したチャンネルが登録されます。

スキャン	
受信可能なデジタル放送のチャンネルを自動登録します。既存のチャンネル情報は消去されます。	
自動スキャン	
追加スキャン	
◀ 選択	決定 決定

・追加スキャン

旅行など、一時的に使用する地域が変わったときなどに使用します。
現在の登録チャンネルは変更せず、新たに受信したチャンネルを追加します。

スキャン	
現在受信できるチャンネルをスキャンして新しい放送局があれば追加します。	
自動スキャン	
追加スキャン	
◀ 選択	決定 決定

地域設定

引っ越しなど、使用する地域が変わったときに使用します。

※チャンネル登録にも影響しますので、スキャンを行う前に設定してください。

地域設定	
お住まいの地方を選んでください。	
北海道	東北
関東	信越/北陸
中部/東海	近畿
中国/四国	九州/沖縄
◀ 選択	決定 次へ

地域設定	
お住まいの都道府県を選んでください。	
東京	神奈川県
群馬	茨城
千葉	栃木
埼玉	山梨
◀ 選択	決定 決定

受信レベル

視聴中の放送局の受信レベルが表示されます。

◀ ▶ 🔍 ボタンでその他のチャンネルの受信レベルを確認することもできます。

受信レベル	
物理チャンネル	◀ UHF27 ▶
放送局名	NHK 総合 東京
現在レベル 47	
◀ チャンネル切換	◀ 帯域切換 決定 前画面

地上デジタル放送設定

受信モード

自動

地上デジタルとワンセグを自動で切り換えます。

地上デジタル

地上デジタルを受信します。

ワンセグ

ワンセグを受信します。

※視聴中に(受信)を押すと、ワンタッチで受信モードを切替えることができます。

受信モード設定

自動切換

地上デジタル

ワンセグ

◀ 選択 決定 決定

中継局自動サーチ

オンにすると信号が受信できない場合や信号が弱い時に自動で放送局をサーチします。

中継局自動サーチ設定

オン

オフ

◀ 選択 決定 決定

- トンネルや山間部などが多い地域ではサーチが頻繁に動作する場合があります。この場合、テレビが映らない時間が長くなるため「オフ」に設定することをお奨めします。

字幕

画面に表示される言語を設定します。

なし / 第1言語 / 第2言語

※番組によってはこの機能は使えません。

※放送されていない言語を選択した場合は字幕は表示されません。

字幕設定

なし

第1言語

第2言語

◀ 選択 決定 決定

その他

⚙️ その他

B-CASカード確認

初期化

アップデート

◀ 選択 決定 決定 設定 終了

B-CASカード確認

B-CASカードの詳細確認ができます。

B-CASカード確認

カード種別

M003

カードID

0000-01 23-0001-1234-5678

グループID

設定されていません

テストする

決定 実行

初期化

地上デジタル放送設定をお買上げ時の状態に戻します。

初期化

お買上げの状態に戻しますか？

はい

いいえ

◀ 選択 決定 決定

故障かなと思ったら

使用方法を間違えたりしますと、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に下表で確認してください。


● 電源

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、入ってもすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none">・ ACアダプターが抜けている。・ ACアダプターが抜けかかっている。	<ul style="list-style-type: none">・ ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込んでください。

● リモコン

症状	考えられる原因	対処方法
リモコンで操作ができない	<ul style="list-style-type: none">・ 電池の極性+/-が間違っている。	<ul style="list-style-type: none">・ 電池の極性+/-を確認し、正しく入れてください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 電池が消耗している。	<ul style="list-style-type: none">・ 新しい電池と交換してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ リモコンを本体のリモコン受光部に向けていない。	<ul style="list-style-type: none">・ 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ リモコンの受光範囲を超えている。	<ul style="list-style-type: none">・ 受光範囲内で操作をしてください。

● DVD

症状	考えられる原因	対処方法
再生ができない	<ul style="list-style-type: none">・ ディスクが入っていない。	<ul style="list-style-type: none">・ ディスクを確認してください。
	<ul style="list-style-type: none">・ ディスクが傷ついているか、汚れている。	<ul style="list-style-type: none">・ ディスクを交換するか、汚れを取り除いてください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 機械部が結露状態になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ ディスクを取り出し、1時間ほどそのままにしてください。
	<ul style="list-style-type: none">・ リージョンコードが合っていない。	<ul style="list-style-type: none">・ 本機では“2”または“ALL”以外には対応していません。
	<ul style="list-style-type: none">・ ファイナライズ処理されていないDVD-Rディスクではありませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ 本機ではファイナライズ処理されていないDVD-Rディスクは再生できません。
	<ul style="list-style-type: none">・ 一時停止状態になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none">・ を押してください。

故障かなと思ったら

● DVD

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクが入っているのに、“ディスクを入れてください”と表示が出る	・ディスクが裏返しに入っている。	・レーベル面を上にして入れてください。
画像が出ない	・本機で再生できないディスクが入ってる。	・本機で再生できるディスクを入れてください。
画像が乱れる	・早送り、もしくは早戻し再生を行っている。	・早送り/早戻し再生のときは画像が多少乱れます。
一時停止、リピート再生が実行できない	・これらの機能が使用できないディスクを再生している。	・これらの機能が使えないディスクがあります。
音声言語や字幕言語を変更できない	・ディスクに複数の言語が記録されていない。	・ディスクにより1つの言語だけのものがあります。


● 画像・音声ファイル

症状	考えられる原因	対処方法
再生ができない	・再生できるファイル形式で記録されていますか。	・ファイル形式を確かめてください。本機で再生できるファイル形式はMP3/WMA、JPEGファイルだけです。
	・USBメモリの容量が16GB、SDカードの容量が16GBを超えていませんか。	・本機で使えるUSBメモリは16GB以下、SDカードで16GB以下です。

※ MP3/WMA、JPEGファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。

故障かなと思ったら

● 地デジ放送

症状	考えられる原因	対処方法
テレビの映像が映らない	・ ご使用の地域で放送がおこなわれていない。	・ 放送エリア内でお使いください。
	・ 電波状態が悪い	・ アンテナを調節してください。
	・ チャンネルが地域に合っていない。	・ チャンネル設定をしてください。
	・ 本機のモードが“TV”以外になっている。	・  で“TV”に切り換えてください。
字幕が表示されない	・ 視聴している番組が字幕表示に対応していない。	・ 対応していない番組では字幕の機能はありません。
音声切り換わらない	・ 視聴している番組が音声多重に対応していない。	・ 対応していない番組では音声切替の機能はありません。

製品仕様

品名	15.6インチ フルセグ搭載 ポータブルDVDプレーヤー
品番	SU-156FS
電源	ACアダプター 入力 AC100-240V 50/60Hz 出力 DC12V 1.5A
	カーアダプター 入力 DC12V 出力 DC12V
	内蔵充電電池(バッテリー) DC7.4V/2200mAh 充電時間：約4時間(電源切状態) DVD連続再生時間：約2時間 フルセグ放送連続視聴時間：約2時間
消費電力	18W(ACアダプター使用時)
入出力端子	アンテナ入力端子、miniB-CASカードスロット、SDカードスロット、 micro SDカードスロット(アップデート用)、USB端子、イヤホン端子、 AV出力端子、AV入力端子
再生可能ディスク	DVD、DVD-R、DVD-RW、CD、CD-R、CD-RW
対応フォーマット	DVD-Video、DVD-VR(CPRM)、CD-DA、MP3、WMA、JPEG ※DRM(デジタル著作権管理)ファイルには対応していません。 ※長時間録画/長時間モードで記録されたディスクは正常に再生できない場合があります。
受信周波数	UHF放送 13～62ch ※ワンセグ放送対応
メディア最大容量	USB2.0対応 USBメモリ：最大16GB、SDカード：最大16GB
液晶画面	15.6インチ TFT液晶
液晶画面画素数	1366×768ピクセル
許容温度範囲	5～35℃
信号方式	NTSC
リモコン到達距離	3m以内(本体リモコン受光部正面から)
付属品	リモコン、リモコン動作テスト用電池(CR2025)、ACアダプター、 カーアダプター、AVケーブル、ワンセグ用アンテナ、スチールプレート、 車載用バッグ、miniB-CASカード、取扱説明書(保証書)
外形寸法	約387×248×57mm
本体質量	約2050g
製造国	中国

※ 外観のデザインおよび仕様は改良のため予告なく変更する場合がございます。
※ 本製品は日本国内専用です。

アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理(有料)をご依頼ください。

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日より 1年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。

※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。

※弊社は出張修理サービス等を行っていません。

※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

「修理規定」に基づき修理を承っております。

「修理規定」の最新版は弊社ホームページでご確認いただけます。

アグレクションホームページ

<https://www.agrexione.co.jp>

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社カスタマーセンターへご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。

保証条件の内容

- ・保証期間内の製品については、保証規定とあわせて「修理規定」も必ずお読みください。同意いただいたうえで、アフターサービスをご依頼ください。
- ・本規定は予告なく変更する場合がございます。本規定の最新版は、当社ホームページでご確認いただけます。なお、本規定は常に最新版を適用するものとします。
- ・延長保証など、当社保証とは別の保証を利用される場合は、修理品送付前に販売店にお問い合わせください。
- ・保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- ・保証期間は使用開始時期・使用期間にかかわらず、保証書に記載の期間です。修理後も保証期間に変更はありません。
- ・保証期間内であっても、保証内修理適用判断については、当社権限にて実施させていただきます。全て無料保証修理をお約束するものではありません。

①ご購入日から保証期間内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店又は当社カスタマーセンターにお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で本体を修理いたします。

②本製品をネットオークション、ネットフリーマーケット、転売品、中古品またはそれに類する条件で入手した場合は製品保証の対象外となります。

③本製品を他者から譲り受けた場合、製品保証の対象者は購入者本人となります。当保証規定に基づく修理の依頼は購入者本人（購入したことを証明し得る者）が行う必要があります。

④保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

当社によらない分解、改造（ソフトウェアを含む）、修理等が行われた痕跡がある場合。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送、強い衝撃等による故障または損傷。

※火災、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、虫害、鼠害、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、錆、カビ、たばこの煙等による汚れ、ゴミや埃などの異物混入、あるいは異常電圧などの外部要因による故障または損傷。

※一般家庭用以外（業務用、または異常な連続使用など）のご使用、船舶への搭載などに使用された場合の故障または損傷。

※保証書の提示がない場合。購入日が確定できるレシート、納品書、販売店からの発送メール等が無い場合。

※保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

※付属品（リモコン、アダプター等）と消耗品（バッテリー等）の交換。

※液晶パネルのドット抜けは製品の性質上、初期不良・修理・返品制度の対象外となります。

⑤サポート及び保証書は日本国内にのみ有効です。Effective only in Japan.

製品保証書

品名	15.6インチフルセグ搭載 ポータブルDVDプレーヤー	型番	SU-156FS
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	1年
お客様 お名前			
ご住所			
販売店（記入のない場合は保証対象となりません） ※ただし購入日を確定出来る書類（レシート、納品書、販売店からの発送のメール等）がある場合は保証対象となります。 販売店名・住所・電話番号			
			印

※本製品のサポートは日本国内限定となります。

※製品をお送り頂きます場合は必ずご連絡後をお願いします。

発売元：株式会社アグレクション

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡124-1

カスタマーセンター

一般電話

048-940-5889

受付時間：平日 9:00～17:00（土日祝祭日および弊社指定休日を除く）

<https://www.agrexsione.co.jp>